

2016/2017年度SMAN 7

ジョグジャカルタの一年の学習者における日本語の学習のモチベーションと日本語の学習の結果の相関

エディ・ヌグロホ

20130830045

要旨

学ぶにおけるの成功に学習者は成功様々な要因がある。動機は支配的な要因であると考えられている。学習野成功するため、主要な要因は知識と才能と認められた。もう一つの要因はモチベーションという要因は持って銕ない場合、知識と才能の要因は意味がなくなるふおうになった。そのため、本の研究は、学習成果日本語に言語学習の相関を調べた。この研究のタイトルは（2016/2017年度SMAN 7
ジョグジャカルタの一年の学習者における日本語の学習のモチベーションに日本語の学習の結果の相関）である。本研究の目的は2016/2017年度SMAN 7
ジョグジャカルタの一年の社会科学の学習者の学習の結果に日本語の学習のモチベーションと日本語の学習の結果を知るためである。本研究のデータは、学習者のけっかのレポート価値のアンケートや資料で得られた。学習者のモチベーションを決定するために使用するアンケート、学習者のけっかのレポートの値は、学習者の学習成果を決定するために使用されている。本研究は相関方法で定量的な方法を使用する。学習者の日本語学習の結果に日本語の学習のモチベーションから相関の結果を知るため、*product moment*を使用する。本研究の結果は日本語の学習の結果に日本語の学習のモチベーションの関係はポジティブな相関を表す。データ分析の結果を基ず、*product moment*の結果は0、4067である。Rテーブル比べた後、Rカウント=0、4067rテーブル=0、260（有意性水準5%）である。それで、日本語のモチベーションと学習者の日本語の結果の関係があり、ポジティブな相関を表すということがわかる。

キーワード：モチベーション、相関、学習の結果

1. 序論

動機は支配的な要因であると考えられている。学習野成功するため、主要な要因は知識と才能と認められだ。もう一つの要因はモチベーションという要因は持って鑄ない場合、知識と才能の要因は意味がなくなるふおうになった。

最よい結果を取得したい場合は学習活動におけるモチベーションが不可欠です。学習者である動機は右の動機である場合には、そしてさらに大きくなり最適な結果を得る可能性がある。そのためモチベーションは常に学習者のための学習の強度を決定します。Hamalikによって(2003:161)モチベーションの関数でありる：

- a. 行動の出現を奨励。
- b. モチベーションはしょうかいとして機能する。
- c. ドライバーとしてのモチベーション。

Sadirmanに(1994 : 84)モチベーションの関数が三つある：

- a. アクションをサポートする。
- b. アクションの方向を決定
- c. 選択したアクション

Sardiman(1986 : 85)分割モチベーション二つのタイプに、内因モチベーションおよび外因性のモチベーション、固有の動機は、自分自身から来る動機です。外因性の動機に対し固有モ

チベーションの反対です。自分外部要因によって動機付けとき外因モチベーションが言えます。

学ぶためのモチベーションに関する研究についてはRadinal Mukhtar (2015) によって行われてきた、タイトルは*Hubungan Motivasi Belajar dengan Hasil Belajar pada Mata pelajaran Seni Budaya Bidang Seni Musik Siswa Kelas X SMA Piri 1 Yogyakarta*. 本研究の結果は、学習意欲と学習成果の間に有意な正の関係があることを示している。

2. 本論

A. データ及び研究の方法

本研究は相関方法定量的な方法を使用する。本研究ではデータは、学習者のけっかレポート及びアンケートを使用する。アンケートデータは学習者のモチベーションを決定するために使用する、学習者のけっかレポートは、学習者の学習成果を決定するために使用されている間。学習者の日本語の学習の結果に日本語の学習のモチベーションから相関の結果を知るため、*product moment*を使用した。(Arikunto:2002)

$$r_{xy} = \frac{N \sum XY - (\sum X)(\sum Y)}{\sqrt{\{N \sum X^2 - (\sum X)^2\} \{N \sum Y^2 - (\sum Y)^2\}}}$$

r_{xy} : 相関係数

$\sum x$: 変数Xの総数 (値学習意欲)

$\sum y$: 変数Yの総数 (学生の学習成果の値)

Σx^2 : 変数X の合計値の二乗

Σy^2 : 変数Yの合計値の二乗

本研究の対象はSMAN

7

ジョグジャカルタの一年の学習者における日本語の学習のモチベーションに日本語の学習の結果の相関、57人である。

この研究の仮説は：

Ha : 学習意欲と学習成果の間にポジティブの関係がある。

H0 : 学習意欲と学習成果の間にポジティブの関係はない。

B. 分析の結果と考察

ここでは、データ分析の結果がこのような得られていた。

1) 学ぶ意欲の一般的な説明

番号	間隔	頻度	カテゴリ
1	41 - 49,4	2	非常に低い
2	49,5 - 57,9	5	低い
3	58 - 66,4	8	かなり低い
4	66,5 - 74,9	16	媒体
5	75 - 83,4	15	かなり高い
6	83,5 - 91,9	8	高い
7	92 - 100	3	非常に高い
		57	

上の表,
 16人の学生は十分なモチベーションを学んだ, 15人の学生はかなり高い学習意欲を持っている, 8人の学生は高い学習意欲を持っている,
 8人の学生はかなり低い学習意欲を持っている,
 5人学生は低い学習意欲を持っている,
 3人の学生が学ぶためのモチベーションは非常に高く、持っています,
 2人の学生は非常に低い学習意欲を持っている.

2) 学習成果の一般的な説明

番号	間隔	頻度	カテゴリ
1	70 - 73	2	非常に低い
2	74 - 77	11	低い
3	78 - 82	7	かなり低い
4	83 - 87	20	媒体
5	88 - 91	8	かなり高い
6	92 - 95	5	高い
7	96 - 100	4	非常に高い
		57	

上の表, 20人の学習者が成果中分類を学習してきた,
 11人の生徒は低いカテゴリの結果を検討してきた,

8人の学生はかなり高い学習成果のカテゴリを持っている、
 7人の学習者はかなり低い学習達成のカテゴリを持っている、
 5人の学習者は高いカテゴリの結果を検討してきた、
 4人の学習者は非常に高い学習成果のカテゴリを持っている、
 2人の学生は非常に低い学習達成のカテゴリを持っている。

3) 相関データ分析

データを分析する前に、テーブルにデータを入り。Product Momentの相関式に添加した。

$$r_{xy} = \frac{N \sum XY - (\sum X)(\sum Y)}{\sqrt{\{N \sum X^2 - (\sum X)^2\} \{N \sum Y^2 - (\sum Y)^2\}}}$$

$$r_{xy} = \frac{57.352318 - (4141)(4823)}{\sqrt{\{57.308703 - (4141)^2\} \{57.410961 - (4823)^2\}}}$$

$$r_{xy} = \frac{20082122 - 19972043}{\sqrt{\{17596071 - 17147881\} \{23424777 - 23261326\}}}$$

$$r_{xy} = \frac{110079}{\sqrt{\{448190\} \{163451\}}}$$

$$r_{xy} = \frac{110079}{\sqrt{73257103690}}$$

$$r_{xy} = \frac{110079}{270660,4953}$$

$$r_{xy} = 0,4067$$

結果は0,4067の相関係数を示した。Rテーブルに比べた
 後R カウント=0,4067 >
 Rテーブル=0,260 (有意性水準5%)である。また、日本語の
 モチベーションと学習者の日本語の結果の関係があり、ポジティブな
 相関がある。

3. 結び

データ分析に基づいて、本研究の結果は日本語の学習の結果に日本語の学習のモチベーションの関係はポジティブな相関を表す。データ分析の結果に基づいて、*product moment* の結果は $0,4067$ である。Rテーブルとに比べて後、R カウント = $0,4067$ rテーブル = $0,260$ 有意性水準 5% である。また、日本語のモチベーションと学習者の日本語の結果の関係があり、ポジティブな相関がある。

相関閏秀テーブルに基づ

(Sugiono:2013)。中等度の相関の料金に含ま日本語学習成果で日本語を学ぶための動機との間の相関の程度、期間0400-0599の中で。

4. 参考文献

- Ali, Mohammad dan Asrori, Muhammad. 2014. *Metodologi dan Aplikasi Riset Pendidikan*. Jakarta: Bumi Aksara.
- Arikunto, Suharsimi. 2013. *Prosedur Penelitian Suatu Pendekatan Praktik*. Jakarta: Rineka Cipta.
- Atmaja Prawira, Purwa. 2014. *Psikologi Pendidikan dalam Perspektif Baru*. Yogyakarta: Ar-Ruzz Media
- Dimiyati dan Mudjiono. 2002. *Belajar dan Pembelajaran*. Jakarta: Rineka Cipta.

- Dalyono, M. 2007. *Psikologi Pendidikan*. Semarang: Rineka Cipta
- Furqon. 1999. *Statistik Terapan untuk Penelitian*. Bandung: Alfabeta
- Hamalik, Oemar. 2001. *Proses Belajar Mengajar*. Jakarta: Bumi Aksara
- Khodijah, Nyayu. 2014. *Psikologi Pendidikan*. Jakarta: Rajawali Pers
- Mukhtar, Radial. 2015. *Hubungan Motivasi Belajar Dengan Hasil Belajar Pada Mata Pelajaran Seni Budaya Bidang Seni Musik Siswa Kelas X SMA PIRI 1 Yogyakarta*. Skripsi. Universitas Negeri Yogyakarta: tidak diterbitkan
- Munawaroh, Madinatul. 2011. *Pengaruh Minat dan Motivasi Belajar terhadap Prestasi Belajar Bahasa Jepang Siswa Kelas XI Kayu SMK N 2 Adiwerna Tegal*. Skripsi. Universitas Negeri Semarang: tidak diterbitkan
- Purwanto. Ngalim. 2007. *Psikologi Pendidikan*. Bandung: Remaja Rosdakarya
- Sardiman. 1992. *Interaksi dan Motivasi Belajar Mengajar*. Jakarta: rajawali Pers
- Slameto. 2010. *Belajar dan Faktor Faktor yang mempengaruhinya*. Jakarta: Rineka
- Sugiyono. 2015. *Statistik Non parametris untuk penelitian*. Bandung: Alfabeta
- Sugiyono. 2015. *Metode Penelitian Kombinasi (Mixed Methods)*. Bandung: Alfabeta
- Sugiyono. 2013. *Metode Penelitian Pendidikan (Pendekatan Kuantitatif, Kualitatif, dan R&D)*. Bandung Alfabeta
- Sutedi, Dedi. 2009. *Penelitian Pendidikan Bahasa Jepang*. Bandung: Humaniora
- Uno. Hamzah. 2009. *Teori Motivasi dan Pengukurannya Analisis di Bidang Pendidikan*. Jakarta: Bumi Aksara